

ゆるぎ橋（丹南町）

丹南町丁〈ちょう〉の田〈た〉の小川にかかっている小さい土橋を、ゆるぎ橋と言っています。

この橋までやって来たおじいさんが、孫の春男くんに話し始めました。

「この橋が街道〈かいどう〉筋（昔の国道筋）になっとなった時分のことやそうな。」

「この小川のあたりにかくれ里があってな、ときどきこの川へ白水が流れてくることがあったげな。」

「ふうん。」

「ある日、まずしいが心の正しい若者が、この橋を渡ろうとしたんや。」

「何かあったの。」

「すると、橋の上にひとりの少女が笑いながら立っていてな、若者が『お前は誰や』とたずねたら、すっと姿が消えて、橋がゆれ動きだしたんや。」

「ほんまかいな。」

「若者は落ち着いて橋を渡ったそうや。そのことがあってからな、どんどんお金がたまり、若者は長者になったという話や。」

